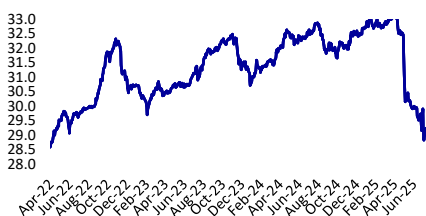
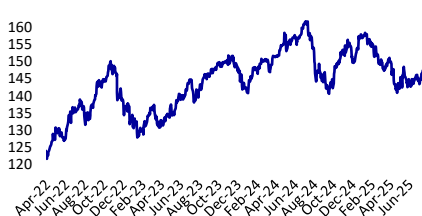


市場動向

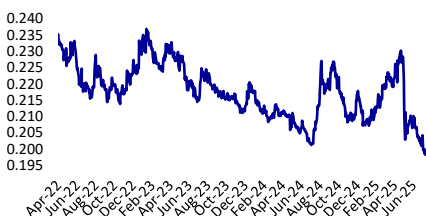
■USD/TWD



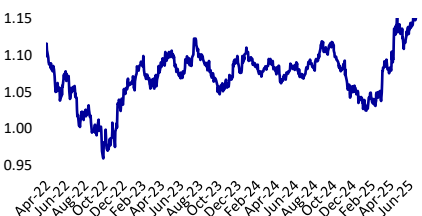
■USD/JPY



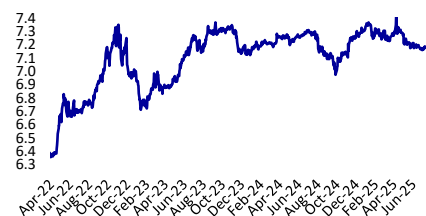
■JPY/TWD



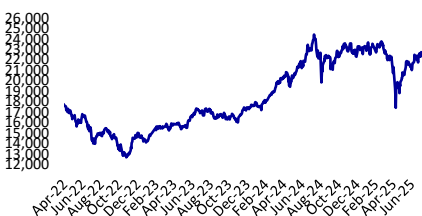
■EUR/USD



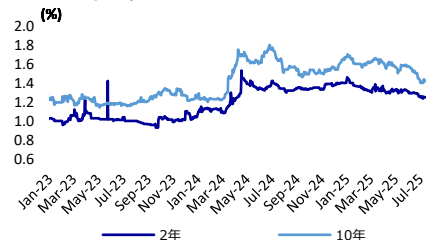
■USD/CNH



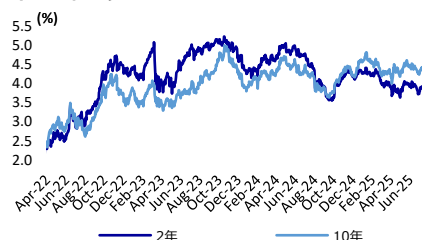
■台湾加権指数



■台湾國債利回り



■米国債利回り



先週の市場動向

■USD/TWD

ドル/台湾ドルは反発。7/7、28.950でオープンした後、海外市場ではドル買いがやや優勢となったことに加え、今月から始まる台湾株の配当金送金も徐々に入り、ドルは一時29.072まで上昇。7/8ドル/台湾ドルは続伸。貿易環境の悪化が懸念され、台湾株の下落とともに、ドル買い優勢の展開、一時29.081まで上昇。7/9、米金利の上昇を受け、海外市場ではドル買い優勢の展開となり、一時29.150まで上昇。7/10ドル/台湾ドルは続伸。米金利の上昇を受け、海外市場ではドル買い優勢の展開となり、29.20を超えた。午後になっても方向の変化はなく、一時29.244まで上昇。7/11ドル/台湾ドルは反落。外資による台湾ドル買いが強まったことに加え、輸出企業の換金売りも入り、一時29.188まで反落。最終的には前週比0.95%ドル高台湾ドル安の29.205でクローズ。週間の外国人投資家の株式買い越し額は304.7億台湾ドル。

■USD/JPY

ドル/円は反発。144.67でオープン後、トランプ政権は日本などの国に対し、関税交渉についての書簡を公表、8月1日から日本からの輸入品に25%の関税を賦課と発表したことを受け、米スタグフレーションリスクの増加で、米金利の上昇に伴いドル買い優勢の展開。7/8ドル/円は続伸。暫く146円前後で推移した後、欧米時間では米金利上昇で、ドル買いで一時147円近くまで上昇した後、146円台半ばまで低下。7/9ドル/円は反落。一時147円台前半まで上昇したものの、トランプ関税の書簡公表に対する市場の反応は限定的で、為替市場ではドル買い戻しの動きが一服した格好。7/10ドル/円は反落。146.08から146.47の間で動意なく推移。NY市場のドル/円は朝方に発表された米新規失業保険申請件数が予想を下回ると、米金利の上昇を背景に買いが優勢となり、146.78まで上昇。午後は堅調な米30年債の入札結果が重しとなり、146.19まで反落したが、その後は下げ渋り、146.23レベルでクローズ。7/11ドル/円は上昇。米金利の上昇に伴い、ドル買い優勢で146円台前半から147円台前半まで上昇し、6月下旬以来の高値を回復。最終的には前週比1.95%ドル高円安の147.42でクローズ。

■USD/TWD 予測レンジ：28.700-29.300

今週のUSD/TWDレンジ推移となる予想。台湾の相互関税交渉の結果ははまだ発表されておらず、潜在的な不確定要素が依然として多く、市場は慎重な姿勢。台湾の上場企業は7月中旬から現金配当を集中的に実施しており、市場の資金の移動もピーク期に入り、外国資本が送金され、輸出業者は高値で売る傾向にあるため、為替レートは短期的なレンジ推移となる。USD/TWD区間の推移と予想。

■USD/JPY 予測レンジ：145.20-148.50

今週はUSD/JPYは底堅い推移を予想。トランプ大統領は日本に対して25%の関税を課すと発表し、円安圧力がかかっている。米国と日本の間では、米市場の保護をめぐる交渉が行き詰まり、貿易交渉も進展なし。関連する不確実性により、日本銀行の今後の金融引き締め措置が遅れる可能性。さらに、今週日曜日に行われる日本の参議院選挙の結果にも注目。USD/JPYは底堅い推移を予想。

今週の予想

7/14 (MON)	日本5月機械受注、中6月輸出入/貿易収支
7/15 (TUE)	中6月工業受注、小売業売上高/ Q2GDP、米6月CPI
7/16 (WED)	英6月CPI、米6月PPI
7/17 (THU)	日本6月輸出入/貿易収支、米6月小売業売上高/7月フィデリア連銀製造業指数
7/18 (FRI)	日本6月東京都CPI、米6月CPIミシガン大学消費者信頼感指数/住宅着工件数、7/20(日)日本参議院選挙

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。